第21講　して・より・にて（格助詞）

PART1　して・より（訳に気をつける格助詞）

★「して」の重要な3つの訳

①　手段（＝～　　　　）

（例）　筆**して**書く。

②　共同（＝～　　　　）

（例）　友とする人、ひとりふたり**して**行きけり。

③　使役の対象（＝～　　　　）

（例）　人**して**、惟光召させて…

問一　傍線部の文法的意味として最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

①　御使ひ<u>して</u>申させ給ふ。

②　長き爪<u>して</u>眼をつかみつぶさむ。

③　むつまじき四五人ばかり<u>して</u>、まだ暁におはす。

ア　手段　　イ　共同　　ウ　使役の対象

①＝　　②＝　　③＝

★「より」の重要な3つの訳

①　経由（＝～　　　　）

起点（＝～から）で訳せた時、注意！

（例）　木（こ）の間**より**洩り来る月の影

② **即時**（＝〜　　　・〜　　　）

「　　形」＋より↓「即時」から考える。

（例） 名を聞く**より**、やがて面影は推しはからるる心地するを…。

③ **手段・方法**（＝〜　　）

「　手段・　手段」が多い。

※「かちより【　　より】」（＝徒歩　　）

（例） ただ一人、かち**より**、詣でけり。

問二　「『切り殺さるるか』と思ふより、手足もなえてはふはふ逃げて…」の傍線部の現代語訳として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　思い始めると　　イ　思ったとたんに　　ウ　思うどころではなく　　エ　思いに増して

〈Memo〉

第21講　PART1　確認問題

①「返りごとは、おとなしき人して書かせてあり。」の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　手段（〜で）
イ　共同（〜と共に）
ウ　使役の対象（〜に命じて）
エ　即時（〜とすぐに）

②「徒歩（かち）よりまうでけり。」の傍線部と同じ用法のものを、次の中から選べ。

ア　神代より　吉野の宮に　あり通ひ
イ　つぎねふ　山城路を　人夫の　馬より行くに
ウ　我よりも　貧しき人の　父母は　飢ゑ寒ゆらむ
エ　家づとに　貝を拾ふと　沖辺より　寄せ来る波に　衣手ぬれぬ

③「西の御方より、内の御障子(みさうじ)ひき開(あ)けて渡りたまふ。」の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　経由（〜から）
イ　即時（〜とすぐに）
ウ　手段・方法（〜で）
エ　共同（〜と共に）

④「およびの血して書きつけける。」の傍線部と同じ用法のものを、次の中から選べ。

ア　おもしろしと見るにたへずして、…
イ　あるがなかに心地悪しみして、…
ウ　蔵人(くらうど)して、削りくづをつがはしてみよ。
エ　長き爪して、眼(まなこ)をつかみ潰(つぶ)さん。

⑤「命婦、かしこにまかで着きて、門(かど)ひき入るるより、…」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　門に引き入れないが
イ　門に引き入れるとすぐに
ウ　門に引き入れて
エ　門に引き入れないと

第21講　PART1　解答

問一　①　ウ　②　ア　③　イ

問二　イ

第21講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 選択肢の中で、格助詞「して」の意味はア、イ、ウのどれかである。「書かせて」の「せ」が使役であることから、「返事は、おとなしき〔＝思慮分別のある〕人に命じて書かせた」と考えられる。よって、ウが正解。

② 設問は「徒歩（かち）より」（＝徒歩で）なので、手段の用法。選択肢から手段を探すとイのみ。よって、正解はイ。

③ 選択肢の中で、格助詞「より」の意味はア、イ、ウのどれかである。傍線部の上が、活用形の連体形や手段ではないので、経由の「西の御方から」と考えられる。よって、正解はア。

④ 「およびの血」が活用形の連体形ではないので、経由か手段・方法のどちらかである。手段・方法の「指の血で書きつけた」とすると、文意が通る。選択肢から手段・方法を探すとエのみ。よって、正解はエ。

⑤ 格助詞「より」の意味は、経由、即時、手段・方法である。「より」の意味で訳しているのは、イのみ。よって、正解はイ。

〔解答〕

① ウ　② イ　③ ア　④ エ　⑤ イ